

2009年度第1四半期決算説明会

積水化学工業株式会社
 コーポレートコミュニケーション部担当
 専務執行役員 伊豆 詰次

2009年7月30日

(億円)

	2009年度		2008年度		増 減	
	1Q実績	上期計画	1Q実績	上期実績	1Q	上期
売上高 (上期計画・実績に 対する進捗率)	1,695 (42%)	4,060	2,052 (43%)	4,729	-357	-669
営業利益	-56	30	-4	183	-52	-153
経常利益	-74	30	4	192	-79	-162
当期純利益	-71	-20	-35	95	-36	-115



(億円)

	2009年度				2008年度		1Q増減	
	1Q実績		上期計画		1Q実績			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	771 (40%)	-35	1,920	40	832 (39%)	-29	-62	-6
環境LL	375 (38%)	-39	1,000	-25	476 (44%)	-17	-101	-22
高機能P	506 (46%)	20	1,090	30	690 (49%)	47	-184	-28
その他	88	-1	190	-11	107	-4	-19	3
消去又は全社	-45	0	-140	-4	-53	0	8	0
合計	1,695 (42%)	-56	4,060	30	2,052 (43%)	-4	-357	-52

(): 上期計画・実績に対する進捗率



- 国内基盤事業は需要低迷の影響を受け苦戦
- グローバル戦略事業は競争力のある事業・製品を軸に順調

市場動向

- ・国内・グローバルとも引き続き景気低迷
- ・優遇税制・公共投資増効果は未だ顕在化せず
- ・一部公共事業で引き合い増

事業リスク

- ・原料価格が上昇傾向
- ・1Qは円高傾向落ち着くも、先行き不透明

主要事業の進捗

	1-3月実績	4-6月見通	上期計画前提 (1-6月平均予想)	為替	6月末実勢レート	上期社内レート
国産ナフサ価格	27,000円/KL	33,500円/KL	30,000円/KL	為替	96円/ドル	91円/ドル
				レート	135円/ユーロ	118円/ユーロ

地域	事業分野	第1四半期進捗
国内	住宅	市場回復遅く、受注苦戦
	塩ビ管	新設住宅着工等需要の低迷により、数量苦戦
グローバル	AT	市場低迷の中、高機能品を軸に計画通り進捗
	IT	市場回復基調、液晶関連製品を中心に計画上回る
	MD	一部海外市場で需要減退の影響受けるも、 新型インフルエンザ向け需要増により計画やや上回る
	インフラ・更生	海外管路更生事業で順調に物件ストック拡大

収益体制強化策の進捗

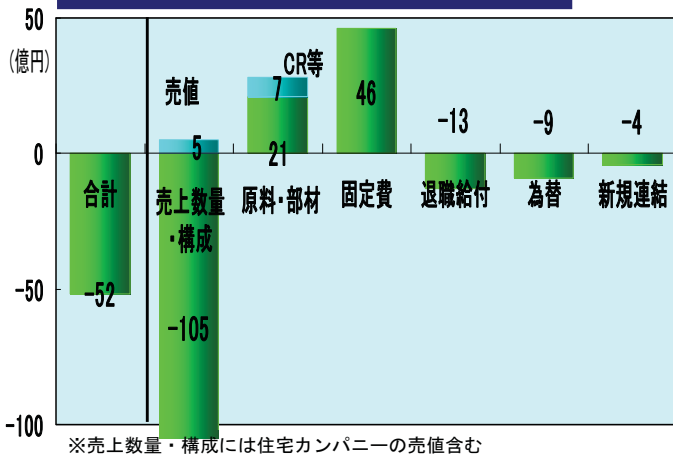
・事業効率化の前倒し実施

- 一部事業で生産体制縮小・人員削減完了(高機能P)
- 生産体制の縮小・不採算事業の一部整理実施(環境LL)
- 九州に続き、北海道・東北・中四国エリアで生販一体運営へ移行完了(住宅)

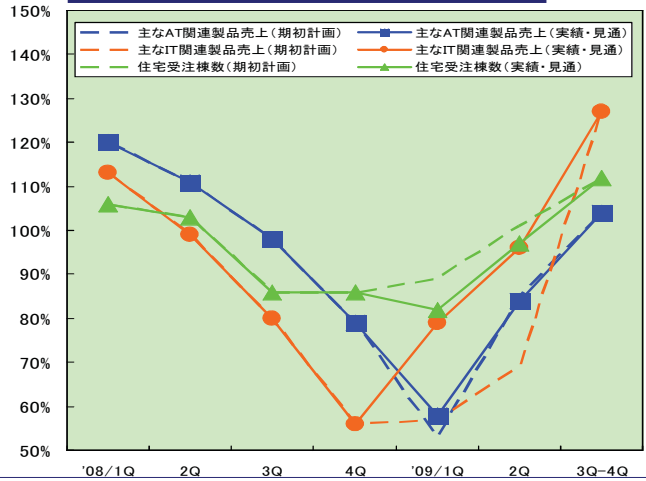
フロンティア開拓の推進

- ・戦略事業(中間膜)のサプライチェーン強化
 - PVA樹脂事業の買収完了
- ・戦略事業(MD)のグローバル展開加速
 - 買収済米子会社(XenoTech社、ADI社)の本格稼働開始

2009年度第1四半期 営業利益要因分析(前年比)



主要事業の伸張率(前年同期比)



損益分岐点売上高の引き下げ

- 海外生産体制見直しなど固定費削減は計画通り進捗
- 汎用品価格の維持徹底

戦略事業強化と海外事業拡大

AT: 自動車市場の需要低迷による売上数量減も計画通りに進捗

中間膜原料の事業買収(7月買収手続完了)

- 安定的な原料供給体制の構築
- サプライチェーンでの技術シナジーの発揮

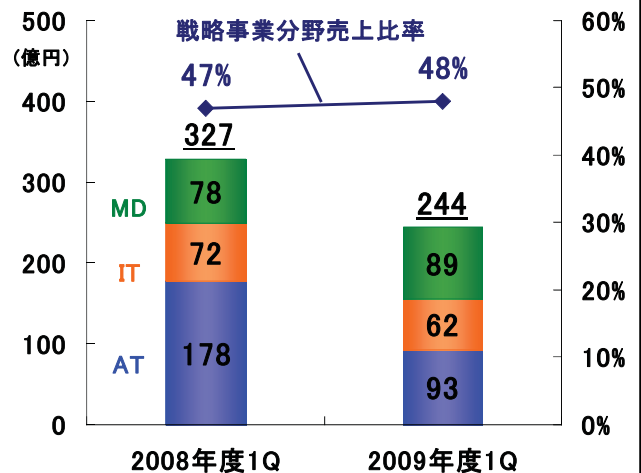
IT: 液晶関連材料は需要回復基調

MD: インフルエンザ検査薬好調

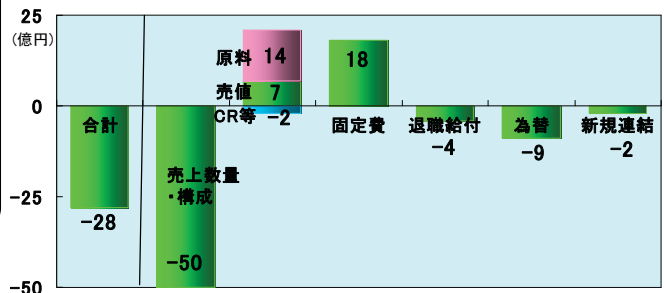
海外拡販に向けXenoTech社、ADI社本格稼働

2009年度1Q 海外売上高 前年同期比64%

戦略事業分野売上高推移



2009年度第1四半期 営業利益要因分析(前年同期比)



国内事業の収益力強化

・想定以上に汎用品市場の回復が遅い

■ 構造改革の徹底推進

- ・生産体制縮小、不採算事業・製品の一部整理

■ 成長製品の拡大

- ・公共関連製品が伸長
PE管(耐震化)、SPR(改築・更生)、
CCBOX(地中埋設)、FFU

2009年度1Q 成長製品売上高 前年同期比100%

海外事業の拡大加速

■ グローバル景気低迷に伴う需要減により苦戦

- 管路更生 欧米各地で物件ストック増加
- 機能材 FFUは各国で引き合い増加
- 水インフラ海外 中国国内で強プラ管の受注好調

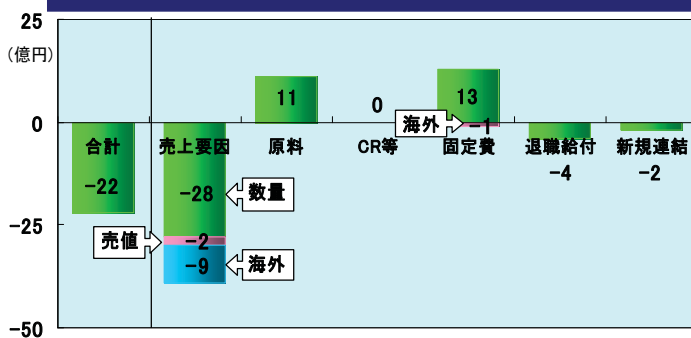
2009年度1Q 海外売上高 前年同期比74%

ポートフォリオ別売上高・営業利益

(億円)

		2009年度1Q		前年同期増減	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益
基盤	水インフラ国内 (給排水、強プラ管)	267	-11	-66	-3
	建材				
	ホームテクノ アクアシステム				
成長	管路更生	22	-15	8	-5
	機能材 (プラント管材、 シート、FFU)	45	0	-23	-8
	水インフラ海外	7	-3	-13	-4

2009年度第1四半期 営業利益要因分析(前年同期比)



2009年度 第1四半期市場環境および第2四半期見通し

- ・1Qは想定以上に市場回復遅れ、競争激化
- ・2Qから本格的な市場回復始まる見通し
- ・各種優遇税制効果は、2Qから顕在化し始める見通し

住宅受注・住環境事業進捗と2Q受注獲得施策

■ 市場回復遅く、1Q住宅受注苦戦

- 1Q受注棟数実績 82%、2Q修正計画 97%

上期受注棟数修正計画 90%

■ 2Q受注獲得施策を展開

- おひさまハイムキャンペーン延長による大容量ソーラー訴求強化
- ウオームエアリー設置への価格支援
- コストパフォーマンス実感商品のさらなる拡販

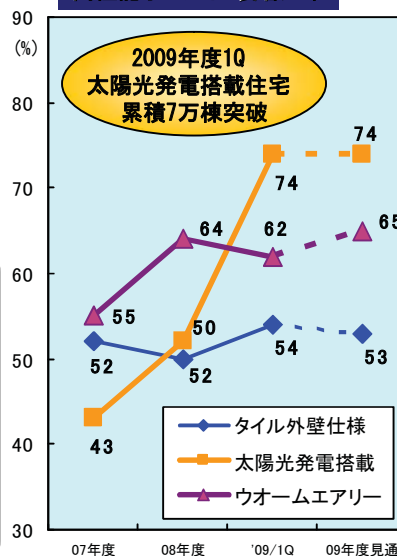
2009年度1Q コストパフォーマンス実感商品受注 108%(前年同期比)

■ 住環境事業売上は計画通り進捗

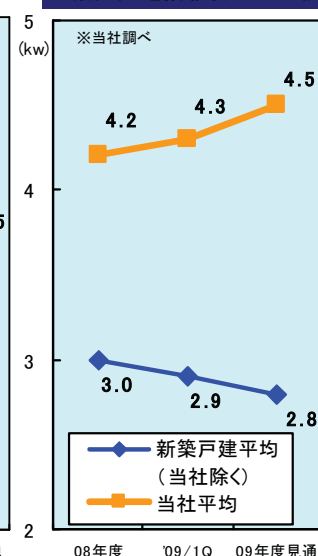
収益体制強化

- 部材・施工コストダウン効果が前倒しで発現
- 固定費削減が順調に進捗
- 九州に続き、生販一体運営エリア拡大
(北海道・東北・中四国)

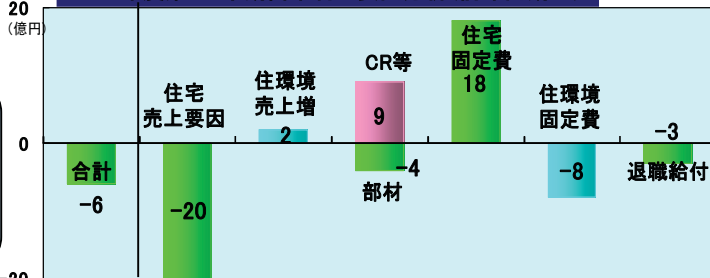
高性能オプション装着比率



太陽光発電搭載容量の比較



2009年度第1四半期営業利益要因分析(前年同期比)



2009年度第1四半期決算内容

経営管理部担当
常務執行役員 田頭 秀雄



連結対象会社数

	2009年6月末	2009年3月末	増 減
連結会社	151社	150社	+ 2 新規連結、- 1 清算
持分法会社	8社	8社	

連結会社増減による影響額

(億円)

売上高	+17	Sekisui CPT +13 ※ XenoTech +4 ※
営業利益	-4	Sekisui CPT -3

※ 2008年度第3四半期より新規連結


損益概要

* 決算短信 P8参照 (億円)

	2009年度1Q	2008年度1Q	増 減	
売上高	1,695	2,052	-357	*(-373)
売上総利益	470	553	-83	
売上利益率	27.7%	27.0%	0.7%	
販売費および一般管理費	526	557	-31	
営業利益	-56	-4	-52	
持分法投資損益	-2	1	-2	
その他営業外損益	-17	8	-24	
経常利益	-74	4	-79	
特別損失	6	22	-16	
税引前利益	-80	-17	-63	
法人税等	-11	16	-26	
少数株主利益	1	2	-1	
当期純利益	-71	-35	-36	

* 新規連結影響を除く増減


カンパニー別 売上高・営業利益

* 決算短信 P11参照 (億円)

	2009年度1Q		2008年度1Q		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住 宅	771	-35	832	-29	-62	-6
環境LL	375	-39	476	-17	-101	-22
高機能P	506	20	690	47	-184	-28
その他	88	-1	107	-4	-19	3
消去又は全社	-45	0	-53	-0	8	0
合 計	1,695	-56	2,052	-4	-357	-52


営業外損益

* 決算短信 P8参照 (億円)

	2009年度1Q	2008年度1Q	増 減	主な増減内訳
持分法投資損益	-2	1	-2	
金融収支	7	9	-2	受 取 -2 支 払 0
雑収入・雑支出他	-23	-1	-22	為替差益 -6 資産評価損 -8
合 計	-19	8	-27	


特別損益

* 決算短信 P8参照 (億円)

	2009年度1Q	2008年度1Q	増 減
事業構造改善費用	-	20	-20
固定資産売却・除却損	6	2	4
特別損失計	6	22	-16
特別損益計	-6	-22	16


貸借対照表(資産)

* 決算短信 P6参照 (億円)

	2009年6月末	2009年3月末	増 減
現金及び預金	351	408	-58
売上債権	1,263	1,424	-161
棚卸資産	1,202	1,200	2
その他流動資産	477	273	205
有形固定資産	2,454	2,388	65
無形固定資産	331	338	-7
投資有価証券	1,343	1,099	243
投資その他の資産	355	434	-78
資産合計	7,776	7,565	211

中間膜(欧州)設備 +21

時価評価 +194


貸借対照表(負債・純資産)

* 決算短信 P7参照 (億円)

	2009年6月末	2009年3月末	増 減
無利子負債	2,729	2,963	-234
有利子負債	1,677	1,294	382
負債合計	4,406	4,257	149
資本金等	2,093	2,093	0
利益剰余金	1,383	1,469	-87
自己株式	-108	-108	0
有価証券評価差額金	3	-112	116
少数株主持分	84	83	1
その他純資産	-86	-118	32
純資産合計	3,370	3,307	62
負債・純資産合計	7,776	7,565	211

 当期純利益 -71
 配当支払 -16

為替換算調整 +32



連結キャッシュ・フロー

* 決算短信 P9参照 (億円)

	2009年度1Q	2008年度1Q
営業活動によるキャッシュフロー	-102	-76
投資活動によるキャッシュフロー	-249	-43
財務活動によるキャッシュフロー	344	204
現金及び現金同等物の増加高	2	74
現金及び現金同等物の期末残高	408	376
フリーキャッシュフロー = 営業活動CF + 投資活動CF - 配当支払	-367	-161



減価償却費・資本的支出

(億円)

	2009年度		2008年度		増 減	
	1Q実績	通期計画	1Q実績	通期実績	1Q	通期
減価償却費	81	340	88	365	-6	-25
資本的支出	94	390	71	345	23	45



スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。



住宅カンパニー実績・計画について

1.住宅事業の主要データ

		2009年度		2008年度		
		1Q	上期計画	1Q	上期	下期
連結	売上高(億円)	771	1,920	832	2,119	2,126
	住宅	548	1,410	611	1,631	1,639
	建物	521	1,350	575	1,554	1,579
	土地	27	60	36	78	61
	住環境	223	510	222	488	486
	リフォーム	144	348	148	328	328
	インテリア・エクステリア 不動産	10 68	24 139	10 64	27 133	24 134
その他	1.販売戸数(戸)	2,250	6,050	2,550	6,900	7,650
	戸建て	1,850	4,350	2,050	5,000	5,300
	ハイム	1,530	3,550	1,690	4,050	4,300
	ツーユー	320	800	360	950	1,000
	アパート	400	1,700	500	1,900	2,350
	2.主なデータ					
	単価<全国販社・戸建>(百万円)	29.9	—	29.5	29.5	29.4
	坪単価<全国販社・戸建>(万円)	75.0	—	73.4	73.9	74.5
	床面積(m ²)	131.5	—	132.7	131.7	130.3
	展示場数(棟)	396	396	416	416	407
	営業マン数(人)	2,361	2,325	2,497	2,463	2,327
	建替え比率(%)	31	36	35	36	35
	紹介契約比率(%)	34	36	33	34	35

※建替え比率と紹介契約比率は受注ベース

2.住宅受注状況

(単位:百万円)

	2009年度		2008年度			2007年度	
	1Q	上期計画	1Q	上期	下期	上期	下期
期初受注残	136,100	—	153,000	—	159,400	150,000	144,300
伸び率	-11%	—	+2%	—	+11%	-1%	-8%
新規受注	76,922	183,648	89,242	197,277	169,808	186,646	197,786
伸び率	-14%	-7%	+8%	+6%	-14%	-6%	+3%
建物売上高	67,522	172,148	73,242	190,877	193,108	192,346	189,086
伸び率	-8%	-10%	-5%	-1%	+2%	-1%	-5%
期末受注残	145,500	147,600	169,000	159,400	136,100	144,300	153,000
伸び率	-14%	-7%	+9%	+11%	-11%	-8%	+2%

3.住宅着工戸数

(単位:戸)

	2009年度		2008年度		
	1Q	上期計画	1Q	上期	下期
住宅着工戸数	199,000	450,000	289,663	580,964	458,216
上記での持ち家着工=A	71,100	140,000	84,073	175,676	134,988
当社販売戸数	2,250	6,050	2,550	6,900	7,650
当社戸建販売戸数=B	1,850	4,350	2,050	5,000	5,300
持ち家での当社シェア=B/A	2.6%	3.1%	2.4%	2.8%	3.9%

*2009年度1Q以降の“住宅着工戸数”と“上記での持ち家着工”は見通し

4.高性能住宅仕様装着比率

	2009年度		2008年度		
	1Q	上期計画	1Q	上期	下期
太陽光発電搭載	74%	74%	49%	50%	54%
タイル外壁仕様(ハイムJXタイプ)	54%	53%	51%	50%	50%
オール電化	92%	92%	90%	91%	92%
ウォームエアリー	62%	65%	58%	56%	71%